

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
宇都宮市	篠井地区	令和3年3月29日	令和5年3月17日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	644 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	354 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	175 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	34 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	123 ha
④地区内において今後中心経営体及び農地の守り手・支え手が新たに耕作する意向のある面積の合計	65 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区全体として、農地に高低差があり、ほとんどの地域で大区画化が難しいため、大区画化以外の生産基盤の改善・強化の検討が必要。</li> <li>・現在は、集落営農組織・法人と、一部の大規模経営の個人農家が担っており、将来的に見込まれる組織内での担い手の不足や、個人農家の圃場の分散が課題となっている。</li> <li>・上小池・下小池の圃場の大半は、区画が狭く水路等が複雑になっている。スムーズに担い手への集約を進めるため、圃場整備が必須である。</li> <li>・上小池・下小池は集落営農がほとんど機能していないため、機械利用組合の発足などをきっかけに、集落営農化（組織化）の推進が求められる。</li> </ul>
--

### 3 対象地区内における中心経営体等への農地の集約化等に関する方針

<b>飯山・上篠井</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農事組合法人しのい夢ファームを中心に、担い手への農地の集積・集約化を進める。</li> </ul>
<b>石那田</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農事組合法人石那田ファームと大規模個人農家を中心に、担い手への農地の集積・集約化を進め、周辺の農地についても担うことができるよう、取り組んでいく。</li> <li>・大規模個人農家の育成や、さらなる営農拡大の支援に取り組む。</li> </ul>
<b>上小池・下小池</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画が小さく、耕作が困難な農地が多数あるため、圃場整備を行い、農地中間管理事業を活用しながら、担い手への農地の集積・集約化を図っていく。</li> <li>・個人農家の営農拡大の支援、集落営農化を推進し、中心経営体を増やしていく。</li> </ul>
<b>中篠井・下篠井</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の集落営農組織の強化を図るとともに、新たな組織の立ち上げ等についても検討し、農地の集積・集約化等に取り組む。</li> </ul>
<b>地区全体</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模拡大に取り組む経営体が、効率的に営農ができるよう、農地の集積・集約化を図る。</li> <li>・耕作放棄地、荒廃農地の把握と解消に努める。</li> </ul>

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
認農		水稲	9.5 ha	水稲	10.0 ha	
認農		水稲, りんご	7.4 ha	水稲, りんご	9.4 ha	
認農法		水稲, 麦, 野菜等	33.6 ha	水稲, 麦, 野菜等	46.9 ha	
認就		—	—	—	0.2 ha	
認農		水稲, 野菜	10.0 ha	水稲, 野菜	10.0 ha	
認就		菌床椎茸	0.1 ha	菌床椎茸, 野菜	0.2 ha	
認就		ミトマ, 春菊	0.2 ha	ミトマ, 春菊	0.3 ha	
認農		水稲 椎茸	11.0 ha 11,000個	水稲 椎茸	11.0 ha 11,000個	
認農法		水稲, 麦, 野菜等	87.5 ha	水稲, 麦, 大豆等	100.0 ha	
認農		水稲 きのこ	14.0 ha 15,000個	水稲 きのこ	16.0 ha 15,000個	
認農		水稲	5.0 ha	水稲	7.0 ha	
集		水稲	0.7 ha	水稲	1.0 ha	
認農		水稲, 麦, 野菜等	12.0 ha	水稲, 麦, 野菜等	16.4 ha	
認農		水稲	4.0 ha	水稲	12.0 ha	
認農		野菜	1.5 ha	野菜	1.8 ha	
認農法		ハウレンソウ	1.5 ha	ハウレンソウ	2.5 ha	
認就		—	—	アスパラガス, 春菊	0.4 ha	
認就		ミトマ, 春菊	0.1 ha	ミトマ, 春菊等	0.3 ha	
認農		りんご	2.3 ha	りんご	2.3 ha	
認農		水稲, りんご	8.6 ha	水稲, りんご等	12.0 ha	
認農		飼料作物 乳牛	2.7 ha 15頭	飼料作物 乳牛	2.7 ha 15頭	
認農		WCS	8.5 ha	WCS	10.0 ha	他地区あり
集		人参	2.2 ha	人参	2.5 ha	
認農		水稲, 花木, ぶどう等	10.0 ha	水稲, ぶどう等	13.5 ha	
認農		水稲, 麦, 大豆	70.0 ha	水稲, 麦, 大豆	71.0 ha	
認農		水稲, 飼料作物 和牛繁殖	15.0 ha 40頭	水稲, 飼料作物 和牛繁殖	15.0 ha 40頭	
認農		水稲, 麦, 大豆	34.0 ha	水稲, 麦, 大豆	36.0 ha	
認農		りんご, 水稲	2.4 ha	りんご, 水稲	2.7 ha	
計	28人		353.8 ha		413.1 ha	

農地の守り手・支え手

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考	
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積		
		水稲	2.5 ha	水稲	5.0 ha		
		水稲	1.0 ha	水稲	1.4 ha		
		水稲	3.4 ha	水稲	3.4 ha		
		水稲	1.4 ha	水稲	3.0 ha		
		水稲	3.0 ha	水稲	4.0 ha		
		ぶどう, オクラ	0.4 ha	ぶどう, オクラ	0.6 ha		
		水稲	3.8 ha	水稲	3.8 ha		
認農		水稲, とうもろこし 原木椎茸	6.4 ha 1,000本	水稲, とうもろこし 原木椎茸	6.4 ha 1,000本		
計		8人		21.9 ha		27.6 ha	

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

##### 基盤整備への取組方針

- ・中心部を重点地域とし、担い手への集約や、生産効率の悪い農地の解消に向け、圃場整備などの生産基盤の整備の促進に取り組む。
- ・自己負担（地域の負担）をできるだけ削減した改善・整備ができるよう、行政と連携し情報収集に努める。

##### 農地の集積・集約化への取組方針

- ・地区全体で、農地中間管理機構を活用した農地の集積や、地域での話し合い等を通じた、担い手同士の耕作地の交換等による農地の集約化に取り組む。

##### 担い手確保への取組方針

- ・農事組合法人しのい夢ファーム、農事組合法人石那田ファーム以外の集落営農組織を機能させるとともに、大規模個人農家の育成、担い手の確保に取り組み、中心経営体の増加を図る。

##### 既存の集落営農組織・法人の連携についての取組方針

- ・組織・法人間の連携を図り、将来的には合併等による拡大を検討し、地区全体での農地の集積・集約化に取り組む。